

学習田農業体験活動

飯田川小学校が実施する「総合的な学習」における学校農園活動で、「ふれあいマイ田んぼ」と銘打った5年生による学習田への農作業体験を行いました。

田植え体験：作業の説明を受け裸足で田んぼに入り、型枠で付けた目印に沿って苗を手植えました。田植え機の乗車体験も行いました。

稲刈り等体験：黄金色に稔った稲を、鎌を使って手刈りして束ねました。コンバインの乗車体験も行いました。また、昔の農器具を使っての脱穀・もみ摺りなどを体験し、その米をおにぎりにして食べました。

収穫感謝祭：今年は、各学年で実施した農作業体験の発表等を行い、感謝状をいただきました。昼食には、子供たちが収穫した米で作った「だまこ鍋」をごちそうになりました。

子供たちが農作業の難しさや収穫の喜びを感じながら、水やお米の大切さも知ってもらえれば、水土里ネットの重要性も理解していただけたと思います。



活動体制	
実施主体	飯田川小学校
後援・連携	J Aあきた湖東、老人クラブ、婦人会、水土里ネット飯田川
実施期間	5月12日、9月29日、11月21日
参加者	飯田川小学校（5年生、教職員、保護者）、老人クラブ他 80名
報道関連	
活動実施年数	4年目（H18年～）
連絡先	〒018-1502 潟上市飯田川下虻川字八ツ口64 飯田川土地改良区 TEL. 018-877-3888
その他	

【活動内容に対する自己評価】 水土里ネット飯田川（川上 丈樹）

○活動の目標及び達成率	目標	農業水利施設や水土里ネットの役割と重要性のPR			
	達成率	50%			
○活動に対する評価	参加が定着してきている。				
判定基準	自己判定（達成度）		判定基準	自己判定（達成度）	
	判定	評価等		判定	評価等
1. 取組体制について			②運動の発展・拡大	C	広がりは薄い。
①役職員・組合員の参加	C	水土里ネットとしての参加者が少ない。	③運動の計画性	C	少しは盛り込まれている。
②後継者育成の工夫	D	取り組んでいない。	4. 運動の成果		
2. 活動の意義性について			a. 組織活性化	D	活性化していない。
①基本理念の設定	B	取り組んでいる。	b. 地域農業	C	少しは振興に取り組んでいる。
②地域の歴史等の伝承	C	少しは生かしている。	c. 地域コミュニティー	B	地域とのコミュニティーは良い。
③運動の先駆性	D	他に運動はしていない。	d. 地域資源管理	C	少しはつながっている。
3. 運動の継続性・発展性			5. 今後の課題等について		
①運動の継続性	A	毎年無理なく継続中。			

（自己判定）A：大いに達成している B：達成している C：少しは達成している D：達成していない E：その他